



輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind



「見えないものを見る力」。余裕とゆとり、繊細な心。

—Change (変革), Challenge (挑戦), Continue (継続) —

昨日、2学期最後の朝会をしました。本当に早いものです。2学期もあと一週間となってきました。その朝会で、寂しい連絡を子供達にしました。校務員さんが、この週末で退職されるということをお伝えしました。公務員さんには、本当にお世話になりました。校舎内外の施設・環境面において様々にご尽力いただきました。校門付近や校舎南花壇の造成、運動場前の植込みの散水設備、体育館前屋根の樋の設置、普段の運動場及び校舎周辺の草刈り、芝生広場の散水、芝刈り、体育館前の植込みの剪定、刈込、校舎南側花壇の整理、鳩対策、職員室の来室児童の対応等、学校の内外で、様々な場所で、色々な機会を通して、この中番小学校を力強く、あたたかく支えてくださいました。昨年度の中番フェスティバルでは、会場が少しでも華やかにと、職員室で綺麗に咲いたハイビスカスの花を届けてくださいました。いつも中番小学校のこと、子供達のことを考えてお勤めいただいております。子供達にもいつも笑顔で接していただき、本当にありがとうございました。感謝の気持ちでいっぱいです。誠にありがとうございました。

そのようなことがありましたので、昨日の朝会では、次のような話をしました。それは、「見えないものを見る力」についてです。普段は、どうしても、今、目の前にあるものだけに目が奪われてしまいがちです。先述しました校務員さんが、普段してくださっていたことは、なかなか、直接、目には見えません。いつの間にか、いつしかできている、知らず知らずのうちにならなっているということが大変多いものです。言われてみて初めて、そうだったんだと気付くことが結構多いものだと思います。もしかしら、ひょっとしたら、案外、気付かずに終わってしまうことの

方が多いのかもしれませんが、でも、そのような身の回りの変化に気付く余裕とゆとり、繊細さが欲しいものだと思います。子供達には、食事を例に話をしました。目の前にある食材は、今、ここに届けられるまでに、どれぐらいの人の手を渡ってきたのでしょうか。自分の机に運んでくれた当番の友達、学校まで運んでくださった給食配送の方、給食センターでこの調理をしてくださった方、給食センターにこの食材を届けてくださった方、この食材を育ててくださった方、…。少し、考えるだけでも多くの方の存在に気がきます。また、その食材である作物は、すぐにできる訳ではありません。種を蒔き、実を結ぶまでにはどれほどの時間と手間がかかっているのでしょうか。多くの時間が必要であり、多くの人がそこにおられるというのは何となく分かりますが、それぞれの場所での苦労や大変さは、分かりにくいものです。だから、食事の前に手を合わせ、「いただきます。」という言葉があるのだと思います。自分では想像できない程の様々なものに対して、心から、ありがたく「いただきます。」なのだと思います。そして、食事が終われば「ごちそうさまでした。」なのだと思います。外国の人から見ると、日本人は食事の前と後に何か呪文を唱えているという認識があるようです。その意味は食事に感謝の気持ちを表しているだということを話すと、「それは本当に素晴らしい！」と感心する外国の方が多いと言います。日本では、ごくごく当たり前のことですが、日本が誇る素晴らしい習慣であると思います。見えないものに思いを馳せ、想像する力、生活の中で、そのような広い視野と豊かな感性を持ちたいものだと思います。そうすれば自然と穏やかな気持ち、大きな自然や世界の中の自分を、その小さな自分という存在を、思うことができるかもしれません。そんな話をしました。

新型コロナウイルス感染症では、新たな変異株オミクロン株の感染、流行が懸念され、心配な状況です。今後も感染症の対策の徹底を継続していきます。保護者の皆様には、引き続き、感染症対策についてご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。